

恵み

長岡キリスト恵み教会だより第104号(2016年12月発行)

あるうちに



「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。」(ルカの福音書)

今年も、クリスマスが近づいてきました。多くの人々がこの時を楽しみにしているのではないのでしょうか。歴史上の一人の人物の誕生が、長年にわたって世界中で祝福されることは不思議です。

何故、イエス・キリストの誕生が、これほど人々の関心を惹きつけるのでしょうか。皆様には是非とも、クリスマスの本当の意味を知って頂きたいのです。

クリスマス 特別伝道集会

「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。
ひとりの男の子が、私たちに与えられる。」(聖書)

12月17日(土)午後 7:30 ~

12月18日(日)午前 10:30 ~
午後 7:30 ~

12月19日(月)午前 10:30 ~



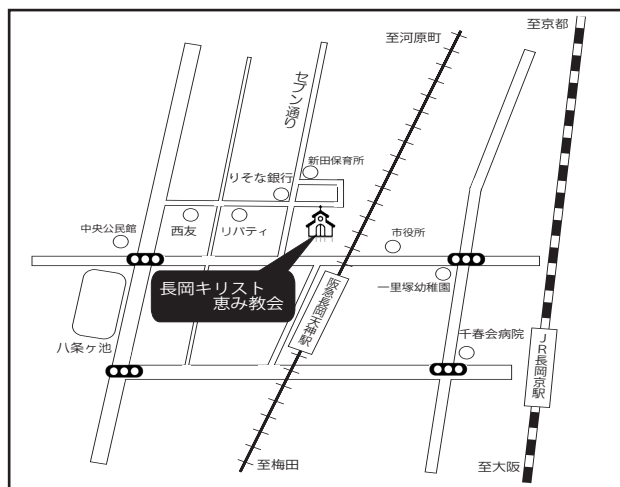
クリスマス会のお知らせ
12月17日午後2時~
教会で人形劇を見たり、聖書のお話をします。
ぜひ来てね!

長岡キリスト恵み教会

牧師 増山康友
京都府長岡京市長岡一丁目2-6
TEL/FAX 075(955)4582
<http://megumi-church.com/nagaoka/>



すべて入場無料です。
お気軽にお越しください。



定例集会

-日曜日-

日曜学校 am 9:00 ~
礼拝 am 10:30 ~
中高生クラス pm 2:00 ~
聖書学び会 pm 6:00 ~

-水曜日-

婦人会 am 10:00 ~
ジョイクラス (中高生祈り会) pm 5:30 ~
祈り会 pm 7:30 ~

-土曜日-

聖書学び会 pm 3:00 ~
聖書学び会 pm 7:30 ~

当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理研)、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)等とは一切関係がありません。これらの団体でお悩みの方は、是非ご連絡下さい。

救い主がお生まれになった

今から二千年以上も前に救い主イエス・キリストは、お生まれになりました。ユダヤのベツレヘムの町にある馬小屋の中でした。

この土地に羊飼いたちがいて、その夜、野原の羊の群れを見守っていました。天の御使いたちが、彼らに現れて神様を賛美し、彼らにイエス様の誕生を告げたのです。

羊飼いたちはイエス様のいる馬小屋に急ぎました。そして、飼い葉桶の中に寝ておられる、みどり子のイエス様を見たのです。



十字架上のイエス様は、おびただしい群衆に囲まれて次のように祈られました。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは自分で何をしているのかわからないです。」

刻一刻と近づきつつある死の苦しみの中で、イエス様の心にあつたものは、人々への愛と赦しでした。

「アメン」

イエス様はそう叫ばれて、十字架上で死なれました。人類の罪に対する神様からの裁きは、御自身の身代わりの死によって、完全に終了したことを宣言して、イエス様は死なれたのです。



世界で最初のクリスマスはこつして祝われました。

今日、十二月二十五日には、世界中でイエス様の誕生を祝うクリスマスが行われています。ただ、本来の意味から随分かけ離れたものとなつてしまいました。

日本では、デコレーションケーキとチキンを食べ、プレゼントを交換し、楽しく過ごす日となっているようです。

今年のクリスマスは、皆様にとつて、救い主イエス・キリストを知り、この方を信じて救われる時として頂きたいのです。

イエス様の「生涯」

イエス様は、おおよそ三十才になられた時、公に御自身を神の子、救い主として人々の前に現わされました。

復活されたイエス様

イエス様の死体は、岩山を横にくり抜いた洞窟の墓の中に安置され、墓の入り口は数トンの石によってふさがれ、誰も中に入れないようにされました。

イエス様の弟子たちが、イエス様の死体を墓から奪うことがないようにローマの兵士たち4名が二十四時間体制で墓の番をしていました。

墓に葬られて、三日目の早朝、大地震が起こり墓の入り口の大きな石が転がり、墓が開いてしまいました。これらの出来事によってローマ兵たちは、気を失い倒れました。

開いた墓にはイエス様の遺体はありませんでした。イエス様は、死者の中から復活されたのです。

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

イエス様はこのように語られて、人々を招かれました。

当時、ユダヤ社会から軽蔑され、見下されていた人々がイエス様のもとに集まって来ました。彼らは病人、罪人、遊女たちでした。彼らは、自分たちが罪人であることを深く自覚し、イエス様に彼らの罪の赦しを求めました。

「子よ。あなたの罪は赦されました。」

イエス様は、罪を告白し、悔い改めた彼らの罪を赦してくださいました。彼らは、罪の罰である、死後の地獄

そして、マグダラのマリヤを始めとして、弟子たちに現れてくださいました。弟子たちの喜びは大変なものでした。

彼らは死から復活されたイエス様を、地獄から救い、天国へ導いてくださる救い主として人々に伝え始めました。

地獄からの救い

イエス様は今も、皆様を招いておられます。皆様は死を恐れてはいませんか。死後の世界は本当に存在するのだろうかと考えてはいませんか。

聖書は「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」と記しています。死後の罪に対する裁きの場である永遠の地獄は実在するの

からの救いを与えられ、また、天国に導いて頂ける救いを得て、非常に喜びました。彼らは、イエス様を救い主と心から信じたのです。イエス様には、人々の罪を赦し、救いを与える権威と力があります。何故なら、イエス様は人類の罪のために人々の身代わりとなつて、十字架で死んでくださったからです。

紀元三十年四月、エルサレムの郊外のゴルゴダの丘でのことでした。午前9時から午後3時まで、6時間、イエス様は十字架に付けられました。



です。イエス様は、ハデス、ゲヘナという表現を用いられ、地獄での裁きについて語っておられます。死後、地獄で罪の刑罰を永遠に受けることは、人間にとつてこれ以上の苦しみはありません。

皆様が罪を認め、悔い改めて、死から復活されたイエス様を皆様の救い主と心から信じるなら、イエス様は皆様の罪を赦してください。死後、永遠の天国に導いてくださいます。どうかイエス様をあなたの神、救い主として信じ受け入れてください。

